

秋起しが初めの一步

ワラ処理に **VS34**[®]

春の浮きワラ…、田んぼが大きいほど悩みも大きい…。

稲刈り後、2袋/10a 散布して耕起！

春の施用なら3袋以上散布。また比重が軽いので、散布は風の無い日に。

- ★ ヒエの多い田んぼでは秋起しの際に4袋以上散布をお試し下さい！！
- ★ 麦、そば、葉菜類の外葉、果菜類の茎葉などのあらゆる残渣に！
- ★ 石灰窒素などを使いにくい特栽米・有機栽培などのエコな田んぼに！
- ★ 浮きわら、田んぼのガス沸き対策に！
- ☆ 堆肥・ボカシ肥の発酵促進に！
- ☆ 土壤消毒後の静菌作用の復活に！

VS34は国産バーミキュライトを担体として、土壤に必要な多種の微生物を培養・吸着してあります。肥料成分は含まない、粘土鉱物のミネラルと微生物だけの純粋な土壤改良材です。

VS34はブイエス科工株式会社の登録商標です。



ブイエス科工株式会社

TEL: 03-3434-5617 (代表)

FAX: 03-3434-5495

URL: <http://www.vs-kakou.co.jp>

畑の残渣をゴミにしない

残渣の分解促進に VS34[®]

残渣の土中堆肥化にも、残根などの徹底分解にも。

5袋/10a 散布して、複数回耕起！

暖かい時期ほど、起こす回数が多いほど分解は早いです。

●残渣処理試験

右が VS 区、左が対象区。数回耕したキャベツ畑。違いは歴然。石灰窒素の様な化学由来の成分ではないのでエコな圃場でも使えます（住宅地でのキャベツ）。



●寒い時期でも、微生物は働く。

冬期の気温でも分解は進みます。20日間の違い。ひげ根部分の分解は済み、株の太い部分も春までにしっかり分解します（写真は小菊）。



●前作の株が芽を出し、邪魔者に。

前作の株が分解されずに残ると、後々、肥料分を奪う存在に。定植まで時間が無い時は、鋤き起こす回数を増やします（写真はニラ）。



●施設栽培でも残渣処理は有効

残渣を持ち出すまでもなく、圃場でそのまま分解処理。残渣が青いうちなら分解も早い。残渣と病原微生物を同時に分解。残渣を積んで堆肥にする際の発酵促進も。



ブイエス科工株式会社